

# 大五建設社内報

令和5年6月13日発行

～第109号～

編集:イメージアップ委員会

## ＜協友会総会＞

6月5日に社員の会である協友会の総会が開かれました。ここ数年はコロナの影響もあり、なかなか活動をする事ができませんでした。しかし、5月からはコロナが第5類へと引き下げられたこともあり、十分注意しながらではありますが、徐々に活動を再開していけそうです。

納涼祭や日帰り旅行なども予定されています。少しずつではありますが、協友会の活動を通して、社内が活気にあふれるとより良い会社になっていくのかなと思いました。

(浅川)



## ＜持株会総会＞

5月18日に持株会の総会が行われました。理事長の田貝さんからご挨拶いただき、前原さんから49期の決算報告をしていただきました。

持株会は、会社の株を持つことで、経営に参加しているという気持ちを高める意味合いがあります。引き続き少しでも会社が良くなるために、活動していきたいですね。

(越田)



## ＜迦葉山＞

5月16日、沼田市にあります迦葉山（かしょうざん）で大和ハウスさんの協力会の安全祈願が行われました。会社からは社長と専務が出席されました。迦葉山は天狗が有名で、日本一大きい天狗のお面があるそうです。天狗の神通力を借りて、一年間安全で過ごせるように願いましょう。

(越田)



## ＜カリカリ梅＞

会社から職人さんへ熱中症対策としてカリカリ梅を配りました。去年まではアメを配っていましたが、今年のカリカリ梅に変更しました。

梅には熱中症予防に有効な食塩、クエン酸ナトリウム、塩化カリウムが含まれています。職人さんにこまめに塩分を取ってもらい、熱中症対策につなげていきたいと思ひます。

(清水)



## ＜紹介キャンペーン＞

5月1日～5月31日までの1ヶ月間で、紹介キャンペーンを実施させていただきました。営業社員をリーダーに4チームに分かれて行いました。

チーム賞は、安藤金光さんチームで、メンバーは宮本主任、浅川さんでした。個人賞は3件ご紹介いただいた高田課長でした。おめでとうございます。

今回は全員が目標達成できるよう頑張りましょう。みなさんにご協力いただき、ありがとうございます。

(越田)

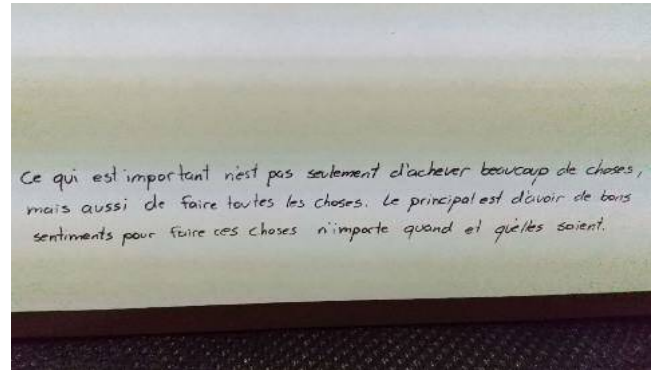


## ＜パンナさんのパンの箱の文字＞

パンナさんのパンの箱に書いてある文章の意味を調べてみました。フランスの哲学者、アルベール・カミュの言葉で、「大切なのはたくさんのをやり遂げるだけでなく、すべてのことをやり遂げることです。大切なのはいつでも、どんなことでも、良い気持ちをもってこれらのことを行うことです」という意味だそうです。

京セラフィロソフィの「純粋な心で人生を歩む」と同様に、純粋な願望をもって、ひたすら努力を続けるということに近いと思います。美味しいパンと言葉をいつもありがとうございます。

(安藤金)



## ＜ソフトボール大会＞

先日、吉田地区のソフトボール大会に出場しました。神成チームは決勝で上小林チームに7-8で敗れ、準優勝でした。結果は敗れましたが、最終回到0-8から1点差に迫る熱い試合になりました。優勝した上小林チームの皆様おめでとうございます。

私は2番捕手として2試合に出場し、第一試合で2打数2安打1三振・失策1、決勝では4打数2安打2打点でした。

(宮本)



## ＜人材育成委員会より本の紹介＞

「よみがえる飛驒の匠」（著：岡田賛三）

本書は家具職人の方が書いた本です。家具に向きな材木を工夫して、加工することに成功した話や通常廃棄される材料を使用して、製品化に成功した話、製造工程の見直しなどで倒産寸前だったところを改革し、立て直した話などが書かれています。

会社経営を続けるにあたり、様々な困難があるかと思いますが、常識にとらわれない改革が必要だと思えます。また、建築業界にも共通している職人不足と技術継承の問題に関して、若手を育てるための対策、業界にもっと魅力を感じられるような方法を考えないといけないと思えました。

(宮本)

